

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
交流拠点施設からの地域産品宅配サービス事業の検討	企画情報課 [総務]	0件	100件	充実		継続		新規
事業の概要								
実施していない。								
平成22年度実績								
							決算額	
							実績値	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
平成23年度予定								
							予算額	
							目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
コミュニティバス運行事業	企画情報課 [総務]	41,356人	43,000人	充実		継続		新規
事業の概要								
<p>事業者路線バスの廃止代替路線として6路線、交通空白地域への対策として1路線、本市直営のコミュニティバス(定期定路線)を運行している。</p>								
平成22年度実績								
利用者 38,924人							決算額	
							25,360千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	3
事業に対する評価・課題等								
<p>旧市町ごとの公共交通施策の差異、あるいは交通空白地域の存在等による地域間格差も生じており、運行形態を含む抜本的な見直しを行う必要がある。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
平成23年度予定								
<p>吉田、三間地区におけるコミュニティバスの実証運行は最終年度であり、その検証結果を参考に、平成24年以降の本格運行の実施について検討を進めていく予定。</p>							予算額	
							20,021千円	
							目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
生活交通バス路線維持・確保事業	企画情報課 [総務]						
事業の概要							
住民の生活交通を維持・確保するため、事業者が運行する路線バス運行に要する経費の一部を補助するもの。							
平成22年度実績							
国庫補助路線 8,928千円 6系統 県バス運行対策費補助路線 2,312千円 3系統 県単補助路線 23,241千円 7系統 市町単独路線 7,383千円 15系統						決算額	
						41,864千円	
						実績値	
						進捗状況	
事業に対する評価・課題等							
路線バスにおいては、利用者の減少、路線廃止、減便等縮小、さらなる利用者の減少、といった悪循環に陥っており、路線再編、経費削減等、事業者の経営努力による対応は、既に限界にきている。路線バスの交通網は辛うじて維持されているものの、補助金の負担も多額であり、市財政を圧迫している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成23年度予定							
継続して実施。						予算額	
						41,772千円	
						目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実		継続	新規
離島航路維持・確保事業	企画情報課 [総務]						
事業の概要							
<p>離島住民の生活交通を維持・確保するため、事業者が運行する離島航路運航に要する経費の一部を補助するもの。</p>							
平成22年度実績							
九島航路 39,810千円 日振航路 43,493千円						決算額	
						83,303千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	
事業に対する評価・課題等							
<p>離島航路においては、離島人口の減少を主な原因とする収入源により、欠損額は増加する一方であり、経費削減等、事業者の経営努力による対応も、既に限界にきている。航路はかろうじて維持されてはいるものの、補助金の負担も多額であり、市財政を圧迫している。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成23年度予定							
継続して実施。						予算額	
						108,870千円	
						目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
在宅福祉事業(宇和島市緊急通報装置貸与事業)	高齢者福祉課						
事業の概要							
<p>独居高齢者および重度身体障害者等に対し緊急通報装置を貸与することにより、急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図る。</p>							
平成22年度実績							
利用者数：308人 総事業費：2,422,451円						決算額	
						2,422千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	3
事業に対する評価・課題等							
<p>ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行っていききたい。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成23年度予定							
利用者数：340人 総事業費：2,746,000円(委託料2,246千円、設置手数料500千円)						予算額	
						2,746千円	
						目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
家族介護支援事業(介護用品支給事業)	高齢者福祉課						
事業の概要							
<p>居宅において要介護4以上の高齢者を介護している家族に対し、介護用品を支給することにより、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続及び向上を図る</p>							
平成22年度実績							
利用者数：225名 支給件数：1,439件 支給費総額：8,167,633円						決算額	
						8,168千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	3
事業に対する評価・課題等							
<p>ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行っていききたい。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成23年度予定							
利用者数：230名 支給件数：1,500件 支給費総額：9,000,000円						予算額	
						9,000千円	
						目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
地域自立生活支援事業(栄養改善配食事業(週1回配食、安否確認))	高齢者福祉課						
事業の概要							
<p>居宅において食事の調理等が困難な65歳以上の独居高齢者等に対し、配食サービスを行うことにより栄養状態の改善と健康の増進を図るとともに、利用者の安否確認を行う。</p>							
平成22年度実績							
利用者数：151名 配食件数：7,802件 支給費総額：1,694,250円(委託料のみ)						決算額	
						1,694千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	3
事業に対する評価・課題等							
<p>食事の提供が週に1回(昼食)のみであったため、十分な事業効果が得られていなかった。H21年度から週3回を上限に利用回数を増やし、利用者の安否確認を行うことに重点を置いている。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成23年度予定							
利用者数：200名 配食件数：9,260件 支給費総額：2,501,000円(委託料のみ)						予算額	
						2,501千円	
						目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
在宅老人等介護手当事業	高齢者福祉課						
事業の概要							
<p>居宅において要介護3以上の寝たきり及び重度認知症の高齢者を介護している家族に対し、介護手当を支給することにより、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続及び向上を図る</p>							
平成22年度実績							
利用者数：270名 支給月数：1,979ヶ月 支給費総額：9,895,000円						決算額	
						9,895千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	3
事業に対する評価・課題等							
<p>ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行っていききたい。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成23年度予定							
利用者数：300名 支給月数：2,260ヶ月 支給費総額：11,300,000円						予算額	
						11,300千円	
						目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
コミュニケーション支援事業	福祉課	事業利用者数 350人	320人				
事業の概要							
聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障害者等の意思疎通の円滑化を目的に、手話通訳等の方法により障害者等とその他の者の意思疎通を仲介する手話通訳者等の派遣等を実施する。							
平成22年度実績							
手話奉仕員派遣 308回 要約筆記奉仕員派遣 38回							決算額
							1,390千円
							実績値
							346人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
必要な支援を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成23年度予定							
継続して必要な支援を実施予定。							予算額
							1,270千円
							目標値
							300人

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
移動支援事業	福祉課	事業利用者数 44人	83人	充実		継続		新規
事業の概要								
屋外で移動に著しい制限のある視覚障害者、全身性障害者、知的障害者、精神障害者及び障害児に対して、外出のための支援を行うことにより当該障害者等の移動に関する福祉の向上に寄与する。								
平成22年度実績								
実利用者数:26人							決算額	
							2,188千円	
							実績値	
							26人	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
必要な支援を実施している。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成23年度予定								
前年度と同様							予算額	
							3,180千円	
							目標値	
							30人	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
地域活動支援センター	福祉課	事業利用者数 (月別)166人	200人	充実		継続	新規
事業の概要							
<p>障害者(児)及びその家族等に対して地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与することにより、障害者等の地域生活支援の促進に寄与する。</p>							
平成22年度実績							
地域活動支援センターさかえ他4箇所・・・延利用人数 12,259名 月別 204人						決算額	
						23,580千円	
						実績値	
						204人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
<p>必要な支援を実施している。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成23年度予定							
前年度と同様						予算額	
						18,280千円	
						目標値	
						204人	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
日常生活用具給付等事業	福祉課	事業利用者数 532人	520人				
事業の概要							
<p>在宅の重度障害者(児)に対し、日常生活用具を給付又は貸与することにより、日常生活の便宜を図り、もって障害者の福祉の増進に寄与する。</p>							
平成22年度実績							
給付件数 2,187件 事業利用者実人数 557人						決算額	
						22,728千円	
						実績値	
						557人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
<p>障害者の日常生活に必要な支援を実施している。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成23年度予定							
平成22年度と同様に実施する						予算額	
						23,900千円	
						目標値	
						540人	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
相談支援事業	福祉課	4,767人					
事業の概要							
<p>障害者等が自立した社会生活を営むことができるよう、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を実施する。</p>							
平成22年度実績							
							決算額
							26,626千円
							実績値
							4,691人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>必要な相談支援を実施している。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成23年度予定							
							予算額
							27,716千円
							目標値
							4,800人

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
自立支援給付事業	福祉課	3,040件					
事業の概要							
障害のため、医療を必要とする者に対し、医療費の助成を行うことにより、自立と日常生活の安定に寄与する							
平成22年度実績							
自立支援医療費(更生医療) 対象レセプト3,209件						決算額	
						161,384千円	
						実績値	
						3,209件	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
必要な医療助成を実施している							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成23年度予定							
前年度と同様						予算額	
						165,000千円	
						目標値	
						3,220件	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
重度心身障害者医療事業	福祉課	2,445人					
事業の概要							
<p>重度心身障害者のため医療を必要とする者に対し、医療費の助成を行うことにより、医療費の無料化を実施し、重度心身障害者の生活の安定と福祉の増進に寄与する。</p>							
平成22年度実績							
対象人員： 2,400名 助成件数： 60,150件 助成金額： 314,537千円 施行事務費： 5,267千円						決算額	
						314,537千円	
						実績値	
						2,400人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
<p>必要な医療助成を実施している。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成23年度予定							
平成22年度と同様に行う。						予算額	
						374,000千円	
						目標値	
						2,500人	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
特別障害者(児)福祉手当事業	福祉課	1,638人					
事業の概要							
在宅重度障害者の福祉の増進を図るため、精神又は身体に重度の障害を有する在宅障害者の方に対し、その重度の障害によって生ずる特別な負担の一助として手当を支給する。							
平成22年度実績							
対象延べ人数:1608名						決算額	
						36,341千円	
						実績値	
						1,608人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
制度の周知が不足している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						3	
平成23年度予定							
前年度と同様に実施予定。						予算額	
						37,081千円	
						目標値	
						1,650人	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
特別児童扶養手当事務事業	福祉課	154人					
事業の概要							
精神又は身体に障害のある児童を家庭において看護している者に対して、国が特別児童扶養手当を支給し、その児童の福祉の増進を図るため、事務取扱を実施する。							
平成22年度実績							
受給者数:147名						決算額	
						222千円	
						実績値	
						147人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
着実に事務を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成23年度予定							
前年度と同様						予算額	
						218千円	
						目標値	
						150人	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[3] 教育・育成の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
特別支援教育推進事業	福祉課 [子育て支援]						
事業の概要							
関係機関との連携のもと、障害児教育、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。							
平成22年度実績							
実績なし。						決算額	
						実績値	
						進捗状況	
事業に対する評価・課題等							
なし。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成23年度予定							
なし。						予算額	
						目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[3] 教育・育成の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
特別支援教育推進事業	教育総務課	100%					
事業の概要							
関係機関との連携のもと、障害児保育、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努めます。							
平成22年度実績							
<p>特別支援教育研修会・講演会・関係諸機関等との連携を図りながら育成に努めた。 幼・小の関連も含め関係機関との連携も行った。 老人介護施設での交流活動(年3回)・入所者の方に年賀状を出す。 高齢者や障害を持っている方々との交流。 支援を必要とする幼児や保護者が安心して園生活が送れるように教師や関係機関との連携を取りながら支援を行なっている。 幼児 一人一人の実態を把握し、幼児の成長・発達を促すために研修・実践を行い、教育の充実を図る。 園児の就学に向けて、関係機関との連携を図る。 様々な研修会へ参加をするとともに、幼・小の関連を含め関係機関との連携を図る。</p>							決算額
							実績値
							100%
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
<p>個別の支援教育の推進について、関係諸機関や保護者との連携や啓発の在り方、保護者との連携や啓発に工夫したい。 園と施設が互いに、自然な雰囲気の中で、交流できるようになってきた。 混合クラスの上、4歳児に支援を要する幼児が2名おり、一人担任での負担が大きかった。諸機関と連絡を取り保育にあたる中で、親子ともに信頼関係が築け、安定した園生活が送れるようになった。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成23年度予定							
<p>特別支援教育研修会・講演会等への参加及び関係諸機関との連携の在り方。 職員の特別支援教育の研修会や講演会の参加。 交流活動では、体の触れ合いを大切にする。 専門機関との連携を十分に取ながら保育を進めていく。高齢者や障害を持っている方々との交流。 関係諸機関との連携、情報交換等により、更に指導の充実に努める。また、特別支援学級新設に向けて協力して取組でいきたい。 特別支援に関する研修会への参加・園内研修。</p>							予算額
							目標値
							100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[3] 教育・育成の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
特別支援教育推進事業	学校教育課	80%					
事業の概要							
<p>関係機関との連携の下、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。 高齢者や障害者についての理解を深める。 相手の立場と人格を尊重する態度を育成する。</p>							
平成22年度実績							
<p>校内支援委員会の充実、高学年における進路相談の充実。 特別支援学級における交流学習の充実・理解を深めた。 高齢者養護施設への訪問を、教育課程を通じて位置付けし、実施している。 保護者や家族の願いを把握するため、保護者懇談を重視した。 保育実習の実施及び職場体験活動における介護体験 市内、南予一円の特別支援学級が参加する各行事には、教員・保護者・生徒が参加した。</p>							決算額
							実績値
							82%
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
<p>専門機関との連携を取り、指導を受けながら個々のニーズにあった支援を行った。 支援委員会を計画的に実施し、全教職員で共通理解をしているが、支援学級や他校の生徒との交流について工夫の余地がある。 高齢者養護施設との交流によって、子供が障害者やお年寄りと接する態度や心が育っている。 保護者や家族の願いを把握する取り組みは重要である。 バリアフリー、ユニバーサルデザインについて理解を深めることができた。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成23年度予定							
<p>特別支援学級の児童に対し、保護者との連携、協力による適切な配慮と指導に努める。 校内支援委員会のさらなる充実 特に配慮が必要な児童に対し、支援員の補充のほか、具体的な策を講じる。 高齢者養護施設との交流に工夫を加えていく。 特別支援教育コーディネーターを中心として、一人一人の生徒に対し、今できることを支援する。</p>							予算額
							目標値
							100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[4] 消費者対策の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
消費者教育事業(消費者講座)	企画情報課 [商工観光課]		1,500人	充実		継続	新規
事業の概要							
消費者支援講座の開催。							
平成22年度実績							
平成22年度消費者支援講座 内容・テーマ:「消費者トラブルに遭わないために」 若者の契約トラブル<ネットトラブル,マルチ商法> 参加者:宇和島南中等教育学校 中等6年生 160名							決算額
							1,024千円
							実績値
							160名
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
社会に出て行く高校生に、自分自身で身を守る知識や判断能力を身に付けることを目的とした講座を行った。 今後においても、消費に関する正しい情報や知識を啓発することが大切と考える。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成23年度予定							
公民館職員研修会や民生児童委員等の会議で、消費生活出前講座及び悪徳商法等についてのパンフレットを配布し、啓発活動を行う。							予算額
							101千円
							目標値
							350名

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[4] 消費者対策の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)				
消費者啓発事業(消費啓発講座)	企画情報課 [商工観光課]		200人	充実		継続	新規
事業の概要							
消費啓発講座の開催。							
平成22年度実績							
【宇和島市消費生活フェア】 日時:平成22年10月3日(日) 10:00~13:00 場所:きさいや広場 内容:寸劇(SF商法「ほんとによい商品の巻」,点検商法「大鴨さん羽布団を買わされるの巻」) 出演 えひめ消費生活センター友の会宇和島支部 講演会 賢い消費者になるために 講師 高田博明 弁護士・高田優子 弁護士 【消費者啓発パネル展】 日時:平成23年2月17日(木)~平成23年2月24日(木) 場所:市役所1階ロビー 内容:消費者啓発パネル展,啓発グッズ配布							決算額
							2,549千円
							実績値
							150人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
・えひめ消費生活センター友の会宇和島支部の会員による寸劇、弁護士による消費者のための講演会など消費者トラブルの啓発を行うことができた。 ・困った時の相談窓口「宇和島市消費生活センター」を市民に広く周知できた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成23年度予定							
【消費者啓発パネル展】 日時:未定 場所:市役所1階ロビー 内容:消費者啓発パネル展,啓発グッズ配布							予算額
							861千円
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[5] 高齢者の生きがいづくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
老人クラブ育成事業	高齢者福祉課						
事業の概要							
高齢者の生きがいや健康づくりを推進するため、老人クラブ活動への補助金を交付している。							
平成22年度実績							
年間活動延月数：1,716ヶ月(143クラブ) 社会奉仕活動事業(地域清掃活動、花づくり活動、独居高齢者訪問活動等) 老人教養講座開催事業(介護講座、健康講座、防災講座等) 健康増進事業(健康体操教室、グランドゴルフ、ペタンク等)							決算額
							1,716千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
3							
事業に対する評価・課題等							
高齢者の生きがいや健康づくりの推進が図られた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成23年度予定							
年間活動延月数：1,716ヶ月 社会奉仕活動事業(地域清掃活動、花づくり活動、独居高齢者訪問活動等) 老人教養講座開催事業(介護講座、健康講座、防災講座等) 健康増進事業(健康体操教室、グランドゴルフ、ペタンク等)							予算額
							1,716千円
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[5] 高齢者の生きがいづくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
老人福祉事業(シルバー人材センター充実支援)	高齢者福祉課						
事業の概要							
<p>定年退職者その他の高齢者の就業において、臨時的かつ短期的なもの又はその他軽易な業務の機会を確保し、その就業を援助、または能力の積極的な活用を図るため、シルバー人材センターに対し補助金を交付している。</p>							
平成22年度実績							
事業受託件数：3,090件 就業実人員：379人 就業延人員：27,503人日						決算額	
						13,000千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	3
事業に対する評価・課題等							
<p>高齢者の就業機会の確保や能力の積極的な活用を図るための支援ができた。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						3	
平成23年度予定							
事業受託件数：3,300件 就業実人員：430人 就業延人員：29,000人日						予算額	
						13,000千円	
						目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[5] 高齢者の生きがいづくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
熟年就農講座 (新規就農支援講座)	農林課						
事業の概要							
高齢者等の自発的な農業への取り組みを支援する							
平成22年度実績							
参加者 宇和島支部外旧自治体ごとに開催し、地域の特性を活かした活動を展開した。 開催回数: 14回 延べ参加者数: 366人 主な講習内容 ・夏野菜の管理について ・秋蒔き野菜の作り方について ・熟年帰農について ・鳥獣害対策について など						決算額	
						91千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	
						3	
事業に対する評価・課題等							
女性が積極的に農作業に取り組み、農業を理解しようと、毎年多くの女性が参加している。講義内容がマンネリ化しないよう参加者の意見を取り入れながら取り組んでいきたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成23年度予定							
長年に渡って指導しており、受講者が自立できるようになったため、自主的活動に切り替える。 ただし、指導要請等があれば随時行う。						予算額	
						0千円	
						目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[5] 高齢者の生きがいづくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
高齢者学級(地区公民館)	生涯学習課	18館	30館				
事業の概要							
<p>高齢者が地域の活動に積極的に参加し、生き生きと暮らしていけるよう、各地区公民館において高齢者が気軽に参加できる学級・講座を実施するもの。</p>							
平成22年度実績							
<p>【高齢者学級】 実施公民館数 : 21館 実施回数 : 61回 延べ時間数 : 100時間 高齢者参加者数 : 1,733人</p>							決算額
							66千円
							実績値
							21館
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
<p>各種学級・講座及び事業は、男女の別や年齢に関わらずできるだけ多くの人が学べるように、土日や日中、夜間等に分散して開催しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるように工夫している。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成23年度予定							
<p>【高齢者学級】 実施公民館数: 21館 実施回数 : 63回 延べ時間数 : 143.5時間</p>							予算額
							161千円
							目標値
							22館

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[6] 高齢者や障害者にやさしいまちづくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
歩道の切下げ及び点字ブロックの設置等	建設課	20%	21%				
事業の概要							
<p>交差点及び横断歩道の車道と歩道の段差を無くし、歩行者にやさしい道作りをするもの。</p>							
平成22年度実績							
<p>寿町二丁目の歩道整備並びに横断歩道との段差解消を行った。</p>						決算額	
						790千円	
						実績値	
						20%	
						進捗状況	
事業に対する評価・課題等							
<p>近年の財政状況に対して市内の補修箇所が増加により予算確保が困難になっている。しかしながら、交通弱者に対して、最優先の道作りを行っていかねばならないと考えている。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成23年度予定							
<p>歩行者にとって危険な箇所について、市民からの要望によりその都度補修を行う予定である。</p>						予算額	
						500千円	
						目標値	
						21% (3箇所)	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[6] 高齢者や障害者にやさしいまちづくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
都市公園における移動等円滑化への対応	都市整備課	公園1箇所					
事業の概要							
<p>出入口の段差解消やスロープの設置等により、高齢者や障害者、ベビーカーを含む子供連れの人などに優しい公園造りを目指すもの。</p>							
平成22年度実績							
バリアフリーを設計に反映させた天教公園改修工事の完成。						決算額	
						20,000千円	
						実績値	
						公園1箇所	
						進捗状況	4
事業に対する評価・課題等							
<p>天教公園改修工事の完成により丸山公園に引き続き移動等円滑化が達成できた。但し、小規模公園を含めた既存施設の改修計画は未策定であることから、財政措置を含めた今後の対応が必要となる。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						2	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						-	
平成23年度予定							
吉田公園・・・身体障害者用トイレの設置 市内公園・・・小規模公園を含めた既存施設の調査						予算額	
						10,000千円	
						目標値	
						1箇所以上	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[6] 高齢者や障害者にやさしいまちづくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
公営住宅整備事業(バリアフリー型公営住宅数の拡大)	建築住宅課	56戸	56戸				
事業の概要							
<p>少子高齢社会に対応するため、公営住宅等整備事業により、公営住宅のバリアフリー化を推進する。</p>							
平成22年度実績							
なし(19年度中に全56戸改修済み)						決算額	
						実績値	
						目標値達成済	
						進捗状況	
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成23年度予定							
なし						予算額	
						目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[6] 高齢者や障害者にやさしいまちづくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
障害者用トイレ設置事業(中央・地区公民館)	生涯学習課		15館				
事業の概要							
<p>公民館33館(中央公民館、分館2館を含む)のうち、障害者用トイレ設置館は13館で、将来的に全館設置を目指しているものの、多額の財源を必要とするため、長期的な計画として平成24年度までに2館増を目標とするもの。</p>							
平成22年度実績							
障害者用トイレ設置のための現地調査を継続中。							決算額
							0千円
							実績値
							進捗状況
1							
事業に対する評価・課題等							
<p>障害者用トイレ設置・未設置の公民館のうち、設置スペースの状況により大規模改修を必要とする公民館があるため、屋外の設置も検討する必要がある。ただし、屋外設置とする場合は、夏場・冬場におけるトイレ内の空調にも配慮する必要がある。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成23年度予定							
<p>障害者用トイレ設置のための現地調査を継続する。 設置予定公民館2館を決定する。 1台あたりの工事費用の積算。</p>							予算額
							0千円
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[1] 介護予防事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
介護予防特定高齢者施策事業 (介護予防事業に係る二次予防事業)	高齢者福祉課						
事業の概要							
<p>要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められた65歳以上の者(二次予防事業対象者)を、基本チェックリストや生活機能評価(健診)で把握する。 把握した二次予防事業対象者に、通所型介護予防事業や訪問型介護予防事業を実施する。 事業の利用等により、要介護状態等となることを防ぎ、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援する。</p>							
平成22年度実績							
生活機能評価受診者...2413人 基本チェックリスト実施者(生活機能評価分除く)...761人 二次予防事業対象者...498人 通所型介護予防事業利用者 ・運動器の機能向上プログラム参加者...実人員130人 ・栄養改善プログラム参加者...実人員9人 ・口腔機能の向上プログラム参加者...実人員27人 訪問型介護予防事業利用者...実人員0人							決算額
							18,079千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
<p>保険健康課及び健診機関と連携し、特定高齢者を把握する「生活機能評価(健診)」を実施した。 広報、リーフレット配布等により啓発活動を行い、広く周知されてきた。 把握した特定高齢者を対象に、運動器の機能向上プログラム等を実施し効果があらわれている。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							2
平成23年度予定							
二次予防事業対象者...見込み400人 通所型介護予防事業利用者...最大利用見込み実人員144人 宇和島会場1セット24回:計6セット 三間・吉田・津島会場1セット13回:計各会場2セット 訪問型介護予防事業利用者...実人員2人							予算額
							13,477千円
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[1] 介護予防事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
介護予防一般高齢者施策事業 (介護予防事業に係る一次予防事業)	高齢者福祉課						
事業の概要							
地域において介護予防に資する自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組が主体的に実施されることを図る。 健康教育や健康相談等を通じて介護予防を普及啓発したり、地域における活動の育成や支援を行なう。							
平成22年度実績							
介護予防普及啓発事業 各種講座...321回5791人(うち介護予防講座...40回921人) 相談会...1回8人 健康相談(保険健康課)...233回1801人 地域活動組織への講師派遣...81回1262人 「シニア元気づくりお役立ちガイド及び情報」発行...37000部配布 認知症フォーラム...1回170人 地域介護予防活動支援事業 ボランティア講座等...18回288人 ボランティアスキルアップ研修...1回6人 シニア元気づくりサポーター育成事業...12回179人 高齢者元気づくり推進事業...1989件 ミニサークル支援活動...20回285人 ふれあいいきいきサロン...61回977人							決算額
							11,175千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
介護予防普及啓発事業 ・広報、パンフレット配布、保険健康課や公民館事業と連携した普及・啓発が図れた。 ・シニア元気づくり体操普及事業・通所型介護予防事後事業を実施し介護予防活動が市民に浸透してきている。 地域介護予防活動支援事業 ・シニア元気づくりサポーター育成事業や介護予防ボランティア養成講座の実施により、介護予防活動への参加・ボランティア養成の基盤整備が図れた。 ・高齢者元気づくり推進事業等により、高齢者が地域で身近に集う場としての、高齢者サロンの拡充が図れた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成23年度予定							
シニア元気づくり体操普及事業(シニアoh!げんき体操クラブ)...4会場各毎月1回 計48回(実人数112人) 通所型介護予防事後事業...12回(実人数10人) 高齢者元気づくり推進事業...高齢者サロンの拡充(124か所 165か所) シニア元気づくりサポーター育成事業...12回(実人数10人) 介護予防講座...34回 健康相談...220回 健康教育...220回 ボランティア講座等...16回 ボランティアスキルアップ研修会参加...1回 地域活動組織への講師派遣...95回 シニア元気づくりお役立ちガイド発行...37000部配布							予算額
							12,181千円
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[2] 地域包括支援センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
介護予防ケアマネジメント事業	高齢者福祉課						
事業の概要							
<p>要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められた65歳以上の者(特定高齢者)を、要介護状態となることを予防するため、心身や環境等の状況に応じて、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等その他の適切な事業が包括的かつ効率的に実施されるよう必要な援助を行うことを目的としてケアマネジメントを行う。</p>							
平成22年度実績							
介護予防ケアプラン作成数: 129件 介護予防ケアプランの評価数: 129件						決算額	
						218千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	4
事業に対する評価・課題等							
<p>個性性を重視し自立支援を目指した適切な介護予防ケアプランの作成や、計画を定期的に評価し見直しを行うことで、改善に向けた支援ができた。 介護予防特定高齢者施策の通所型介護予防事業や訪問型介護予防事業と連携して実施する事ができた。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						2	
平成23年度予定							
介護予防ケアプラン作成見込数: 144件						予算額	
						321千円	
						目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[2] 地域包括支援センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課						
事業の概要							
<p>高齢者が安心して生活を続けていくために、介護保険サービスだけでなく関係機関のネットワークを活かしながら、総合相談支援を通じて、制度の垣根を越えた横断的・多面的な援助を目指す。</p> <p>高齢者が認知症や要介護状態になっても、生命や財産が守られ、日常生活に支障をきたすことなく安心して暮らすことができるよう、個人の尊厳を保持するための権利擁護事業の効果的な活用を促進する。</p>							
平成22年度実績							
総合相談事業 総合相談延べ件数・・・4407件 権利擁護事業 高齢者虐待通報件数...20件(内虐待と認定した件数...12件) 成年後見制度に係る相談件数延べ件数...166件(実人数37人 申立て件数6件)							決算額
							5,437千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
<p>戸別訪問により実態把握を行うことで、支援を必要とする高齢者を発見し、適切な支援や継続的な見守りを行い、問題の予防的対応を図ることができた。</p> <p>協力事業所や見守り推進員と連携して、地域全体で見守りや訪問等を行い、日常的な安否を確認するとともに、異常等を発見した時に迅速に対応できるネットワーク体制の構築に努めた。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成23年度予定							
総合相談事業 初期相談から、継続的・専門的な援助まで対応する総合的な相談支援 高齢者の実態把握のための戸別訪問 高齢者地域見守りネットワークの運営 権利擁護事業 高齢者虐待防止への取組 成年後見制度の活用 消費者被害の防止							予算額
							5,689千円
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[2] 地域包括支援センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
成年後見人制度支援事業	高齢者福祉課						
事業の概要							
<p>高齢者などからの権利擁護に関わる相談などに対応すること、成年後見制度の利用が必要と思われる人について、その家族などに成年後見制度の必要性や手続き等を説明し申立てにつなげること、成年後見制度が必要であるにも関わらず身寄りがないような人について、市長申立てにつなげること等の権利擁護に係る事業を行う。</p>							
平成22年度実績							
相談延べ件数・・・166件 申立支援...37件 申立件数・・・6件(うち市長申立件数1件)						決算額	
						206千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	4
事業に対する評価・課題等							
<p>成年後見制度の利用に関する説明や助言を行い、申立てにともなう支援を行った。また、成年後見制度を広く普及させるための広報や、地域の医療機関、権利擁護に関する団体等との連携を図った。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成23年度予定							
成年後見制度利用支援事業見込人数・・・3名 制度普及のための研修会開催・・・1回 相談・制度説明・手続支援						予算額	
						679千円	
						目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[2] 地域包括支援センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
包括的・継続的ケアマネジメント事業	高齢者福祉課						
事業の概要							
地域包括ケア体制ネットワークの構築 介護支援専門員の情報交換促進 介護支援専門員に対する日常的指導・相談 支援困難事例への指導							
平成22年度実績							
地域ケアネットワーク会議を中心とし関係機関との連携体制づくりを行い、各分会・連絡会を定期的に行いネットワークづくりの強化を図った。 また、高齢者地域見守りネットワーク・認知症対策を重点的に取り組んだ。 ・地域ケアネットワーク会議…… 3回 ・介護支援専門員部会 …… 6回 ・訪問介護事業所連絡会 …… 4回 ・訪問看護事業所連絡会 …… 3回 ・通所介護・通所リハビリ事業所連絡会…… 5回 ・グループホーム連絡会 …… 3回 ・介護予防関係部会 ……7回 ケアマネ支援… 283件/年 サービス担当者会議への参加… 22回/年 合計305件							決算額
							809千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
市内36か所の居宅介護支援事業所の介護支援専門員約90名からの相談は、平成22年度305件であり、日々支援困難事例を始め、介護支援専門員の相談・支援が行えた。また、関係機関と定期的に集うことで顔の見えるネットワークづくりができ、連携が取りやすくなっている。今後は独居高齢者や虐待、認知症等多様化するニーズに対応出来る様に地域ケアネットワーク会議の部会を再編していく。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成23年度予定							
介護支援専門員に対する個別支援 支援困難事例を抱える介護支援専門員への支援(窓口相談・同行訪問) サービス担当者会議の開催支援 ケアマネジメントの質の向上のための研修会開催(6回/年) 包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築 「地域ケアネットワーク会議」を中心とした関係機関の連携体制づくり							予算額
							813千円
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[3] 認知症高齢者への支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
介護予防一般高齢者施策事業 総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課						
事業の概要							
「認知症になっても安心して暮らせる街、宇和島」を目指し、宇和島市地域支援体制構築事業(県委託モデル事業)に取り組む中で支援体制のシステムを構築する。 介護予防一般高齢者施策の中で認知症の予防を図り、総合相談・権利擁護事業で認知症の方の相談を行い、認知症の方がより安心して生活できるよう支援する。							
平成22年度実績							
認知症ケアサポートチーム会議.....3回 地域資源マップ作成・配布(三間地区) 徘徊SOSネットワーク構築事業 ・認知症ワーキング会議.....5回 ・キャラバン・メイト養成講座.....1回(51人) ・キャラバン・メイトフォローアップ研修.....1回(31人) ・認知症サポーター養成研修事業.....72回(2269人) 研修会・学習会 ・認知症シンポジウム...1回(233人) ・認知症フォーラム(三間地区での模擬訓練同時実施).....1回(170人) ・認知症医療ワーキング会議.....3回(51人) ・認知症医療講演会.....1回(48人) ・認知症ケア研修.....5回(256人) ・家族等学習会.....34回 認知症の相談...延552件							決算額
							3,014千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
21年度より引き続き県委託モデル事業「宇和島市地域支援体制構築事業」に取り組む中で、サポート会議の開催や徘徊SOSネットワークの構築、研修会や講座、認知症サポーター養成研修により、認知症が病気であることへの理解者や支援できる認知症サポーターの養成ができた。 モデル地区(三間地区)での家族学習会や資源マップ作成・配布、模擬訓練の実施など着実な成果がみられた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成23年度予定							
2年間の宇和島市認知症地域支援体制構築等推進事業(県委託モデル事業)を終え、宇和島市独自で引き続き認知症対策に取り組む。(包括的支援事業の一環としての取組) 地域ケアネットワーク認知症対策部会... 適宜、部会を開催し宇和島市で取り組む 認知症対策について検討。 徘徊SOSネットワークの構築事業... 徘徊SOSネットワーク構築のための協力者を確保すると共に 情報伝達のしくみを全市で取り組む。 認知症医療・ケア研修会事業 ・認知症医療との連携...認知症情報提供書の活用等の推進及び内容の改善 ・認知症ケア研修...センター方式等の勉強会を実施 認知症学習会事業 ・認知症講演会の実施(年1回) ・認知症講座(サポーター養成講座)(年40回) ・キャラバンメイトフォローアップ研修(年1回)...キャラバン・メイト連絡会の結成 ・認知症家族のつどいへの協力 ・認知症相談室(年6回)...医師相談							予算額
							250千円
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[3] 認知症高齢者への支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課						
事業の概要							
高齢者に対する暴力(家族による年金の取上げ、虐待)の防止と一体的に実施。							
平成22年度実績							
							決算額
							実績値
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成23年度予定							
							予算額
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-